

ベナン月報(2014年5月)

主な出来事

【内政】

●2日, タロン氏が首謀したとされるヤイ大統領毒殺未遂事件, 及びクーデター未遂事件に関し, ベナン最高裁判所は, 2013年7月1日に高等裁判所が下した予審免訴の判決を破棄し, 高裁に差戻す旨決定した。

●14日, ヤイ大統領毒殺未遂事件及びクーデター未遂事件に関し, ヤイ大統領は, 国民に向けてタロン氏を赦す旨の声明を発表した。

【外政】

●17日, ヤイ大統領は, パリで開催されたナイジェリア安全保障パリ・サミットに出席した。

●30日, ヤイ大統領はアクラで開催されたECOWAS臨時首脳会合に出席した。

【経済】

●14日, 塚原駐ベナン日本大使及びユニセフ・ベナン事務所のヴァンサン代表が, 日本政府が拠出したUNICEFの栄養改善プロジェクトを視察するためボルグ・アリポリ県を訪問した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙及び L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 2日, タロン氏が首謀したとされるヤイ大統領毒殺未遂事件, 及びクーデター未遂事件に関し, ベナン最高裁判所は, 2013年7月1日に高等裁判所が下した予審免訴の判決を破棄し, 高裁に差戻す旨決定した。判決差戻し理由は, 高裁が2013年5月29日付で改訂された刑事訴訟法ではなく, 改訂前の刑事訴訟法を適用していたためとされる(5日, La Nation紙)。
- ・ 5日, コトヌ自治港の総裁人事及び同港に新しく導入された制度に抗議して, コトヌ自治港の労働組合が座り込みを実施した(5日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 10日, セメ・ポジの中古車販売センターで大規模な火事が発生した。同センターでは, 先月にも火事が発生した(12日, Le Matinale紙)。
- ・ ベナン港湾管理公社(SOBEMAP: Société Béninoise de Manutention Portuaire)の公共入札で, 同機関のトレバ(M.Soumanou TOLEBA)総裁が落札した企業との契約を不透明に破棄した旨報じられた。同総裁は, ヤイ大統領の指示により, 契約を破棄した旨述べている(14日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 13日, 経済・社会評議会(Conseil économique et social)の20周年記念式典が開催され, ヤイ大統領, ナゴ(M. Mathurin NAGO)国民議会議長, バトコ(M.Ousmane BATOKO)最高裁長官等が出席した(14日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 13日, カンドヌの金融機関で強盗事件が発生し, 3百万FCFAが被害にあったほか, 一名の警察官が殺害された(13日, Le Matinale紙)。
- ・ 13日, コートジボワールに本部を置くアフリカ商法調整機関(OHADA: Organisation pour

l'Harmonisation en Afrique du droit des Affaires)の仲裁裁判所(CCJA)は、ベナン政府が2011年2月9日、タロン氏が経営するBenin Control社と交わした「新世代輸入検査計画(PVI-NG:Programme de Verification des Importations de Nouvelle Generation)」に係る契約を一方的に破棄したとして、ベナン政府に対し、同判決の通知から60日以内に契約内容に沿った条件で、契約を再開しなければならない、そして、契約が再開できないのであれば、一方的な契約破棄によりBenin Control社に対し与えた損害賠償として同社に対し1290億FCFAを支払わなければならない旨の判決を下した。加えて、CCJAは、SODECOの収用事案についてもベナン政府は、タロン氏が経営するSCP社に対し、310億FCFAの損害賠償を支払わなければいけないとした(22日, La Nouvelle Tribune紙)。

- ・ 14日、ヤイ大統領毒殺未遂事件及びクーデター未遂事件に関し、ヤイ大統領は、国民に向けてタロン氏を赦す旨の声明を発表した(15日, L' Autre Quotidien紙)。
- ・ 19日、ヤイ大統領毒殺未遂事件及びクーデター未遂事件に関し、ベナンで拘留されている被疑者6名が仮釈放された。6月16日に実施予定の審問で、両事件には根拠なしとの判断が下され、本釈放の決定が下される見込み(20日, La Nation紙)。

【外政】

- ・ 8日、ヤイ大統領はアブジャで開催された世界経済フォーラムに出席した(9日, La Nation紙)。
- ・ 17日、ヤイ大統領は、パリで開催されたナイジェリア安全保障パリ・サミットに出席した(19日, La Nation紙)。
- ・ 30日、ヤイ大統領はアクラで開催されたECOWAS臨時首脳会合に出席した。同会合では、マリ北部及びナイジェリア北部の治安情勢について協議された(6月2日, La Nation紙)。

【経済】

- ・ 2日、スラノン・ソス(Mme Marie-Laurence SRANON SOSSOU)家族・社会問題・国家連帯・障がい者・高齢者大臣は、ユニセフ・ベナン事務所のヴァンサン(Mme Anne VINVENT)代表とともに児童保護国家政策策定のためのワークショップを開催した(5日, La Nation紙)。
- ・ 5日、西アフリカ開発銀行のアドヴェランデ(M.Christian ADOVERANDE)総裁がヤイ大統領と会談し、同銀行が融資した2013年－2014年の綿花キャンペーンの視察・報告を行った。(25日, La Nation紙)。
- ・ 6日、海洋経済・港湾施設担当省は、国際海事機関(IMO)とともに、ギニア湾における海上安全保障にかかるワークショップを開催した(7日, La Nation紙)。
- ・ 6日、仏が職業訓練及び若年者社会統合プロジェクトにかかる4百万ユーロの支援を実施することになり、ピアン(M.Jonas GBIAN)経済・財務大臣及びメナジェ(Mme Aline Kuster MENAGER)駐ベナン仏大使が、署名式を実施した(7日, La Nation紙)。
- ・ 9日、欧州投資銀行及びドイツ復興金融公庫(KfW)が、コトヌ及びアボメイ・カラヴィにおいて

両機関が支援を検討している「コトヌ市及び周辺地域における飲料水改善計画／第2フェーズ」の協力準備調査を行った(12日, La Nation紙)。

- 14日, 塚原駐ベナン日本大使及びユニセフ・ベナン事務所のヴァンサン代表が, 日本政府が拠出したUNICEFの栄養改善プロジェクトを視察するためボルグ・アリポリ県を訪問した(15日, La Nation紙)。
- 20日, コトヌ市の4つ星ホテル, ベナン・ロイヤル・ホテルが開業し, ヤイ大統領がオープニングに出席した(22日, Le Matinal紙)。
- 21日, ウィダにおいて, ベナン全土12市で実施予定の道路舗装工事計画及び衛生改善計画の工事開始式が実施された。同計画は, 西アフリカ開発銀行及びECOWAS投資・開発銀行の支援で実施され, 総工費は, 300億FCFAに上る(22日, La Nation紙)。
- 22日, 2013年に発生した洪水の被災者に対する緊急援助支援の枠組みで, FAOが種子及び肥料をマランヴィル(Malanville)市及びカリママ(Karimama)市の2500世帯に供与し, 引渡式が実施された(23日, La Nation紙)。
- 27日, コトヌにおいてベナンにおける栄養改善に関する各省庁間会合が開催され, ドゥ・スザ(M.Marcel de SOUZA)開発・経済分析・未来計画大臣及びユニセフ・ベナン事務所のヴァンサン代表らが出席した。ベナン政府及びユニセフ・ベナン事務所が実施した調査によると, ベナンにおける2011年の5歳未満児童の慢性的栄養失調率は32%に上る(6月2日, La Nation紙)。

(了)